

「住まいの地震対策—段ボールで災害用品づくり」 2015.3.15

愛知消費者大会の分科会として、住まいの地震対策のお話とワークショップを開催しました。

お話は壬生さん、ワークショップは壬生さんと河合さんに、それぞれお話し頂きました。

2011.3.11 東日本大震災に近いこの日、震災のことを風化させない為にも、身近な題材で、実践的なワークショップを行うことは、とても大切だと思いました。

時間が足りなくて、予定していたものができないくらい質問がたくさん出ていました。特にワークショップでは、みんなであーだこーだ言いながら、質問やその時思ったことが、なんでも言える、とても和やかな雰囲気でした。

とはいえ、参加されていた皆さんは、実際に避難所で周囲の方に自分が説明するんだという気持ちを感じられるくらい、真剣に考え、質問していたように思いました。

「あたりまえのことがあたりまえにできない状況を想像する」ということが頭に浮かびましたが、忙しい日常の中では、なかなか出来ないことですが、今回のような催しや考える機会を、より多く作っていくことで、ひとりひとりの方の中に、日常や避難所などで役立つ体験をしていただくことの大切さをとても感じました。

たくさんの方が、非常用品を買おう！と思いながら買っていない（たくさんあってどれがいいか良くわからない）や、家具を固定しよう！と思いながらしていない（実際やろうと思うとどうすればいいのかいまいちわからない）方は、ぜひ、こういう催しへ気軽に参加してみてください。

東日本大震災は、まだもちろん終わっていないですし、これからもつづく被災者の生活に、新聞やテレビがとりあげなくても、思いを馳せる機会をより多く持ちたいと感じました。

（黒野 晶大）



当日の内容

- 日頃の備えが問われるおはなし
 - ・DVD 上映「日頃の備えが問われる時」（岡崎市作成）
 - ・災害用伝言ダイヤル171操作 ・非常用品について ・非常時のトイレのおはなし
- ワークショップ
 - ・段ボールトイレ作成ワークショップ ・下地探しと家具固定体験ワークショップ